



学びの海

秋鹿小学校だより



学校教育目標

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する児童を育てる」

松江市立秋鹿小学校

令和8年6月19日

文責：田中 修

秋鹿っ子運動会 「52人 最後まで 本気の秋鹿っ子」



6年生のがんばりに、感謝!!



元気いっぱいの開会宣言(1年生)

そして、リーダーを支える5年生から1年生のみんなの力、協力する心があったからこそ、全校が1つにまとまったすばらしい運動会になりました。また、幼稚園児のみんなも、いつも笑顔で練習に参加できました。

5月30日(土)、秋鹿小学校児童48名と幼稚園児4名による“秋鹿っ子運動会”が盛大に行われました。

たくさんの保護者、地域の皆さまにご声援いただき、本当にありがとうございました。また、テントや用具の準備・片付け等に進んでお力添えいただき、心より感謝申し上げます。

4月から、全校みんなでスローガンを決めたり、役割分担をしながらパネルや賞状、ポスターなどの準備をしたりしてきました。また、赤・青・黄の3色に分かれ、競技やダンス、応援の練習を、色別集会や休み時間などを使って取り組んできました。スローガンにあるように、いつも本気で活動していたこどもたち。大きな声が校舎内外に響き渡る5月でした。リーダーとして力を発揮していた6年生はとも頼もしく、感謝の気持ちでいっぱいです。

当日は、五月晴れの青空のもと、心地よい風が通り抜ける、まさに運動会日和でした。

全力で走り切る徒競走や全員リレー、みんなが協力して競う「転がしまっしょい(大玉転がし)」「引きまっしょい(綱引き)」「投げまっしょい(玉入れ)」、応援パフォーマンスや幼稚園児の演技などなど、みんなが最後まで本気で取り組む姿を見せました。児童代表のあいさつにあったように、勝敗に関わらず、いつも温かい声援や応援、拍手が飛び交っている素敵な会場にいて、胸が熱くなりました。

ホームページ(HP)も、ご覧ください。



HPをご覧になる際は、右の二次元コードをご利用いただくか、「秋鹿小学校ホームページ」で検索ください。
※個人情報保護のためHPの写真については、活動の様子が分かる範囲にとどめ、明度や彩度を低くしております。
※お気づきのことがありましたら、ご一報ください。



「火のように熱く輝け 赤組！」の
スローガンの如く、チーム一丸とな
って熱い応援を繰り広げました。

チェッコリダンス?を
しながらの玉入れ!!



「青組団結 最後まで走りぬけ」の
青組は、その言葉どおり競技で力を
発揮して総合優勝を果たしました。



「引きまっしょい」も力強
かった青組です。



「走る稲妻のように 最後まであき
らめず 優勝つかめ黄組！」の応援
は、ベストパフォーマンス賞に輝き
ました。



「色別全員リレー」がよいよ
スタート! 緊張の1年生!!



応援パフォーマンスへのご声援
ありがとうございました。

学校の活動 あれこれ☆

4月の学校運営協議会でいただいた、様々なご助言やご提言の中で、「ふるさと学習」に関わるものもいくつかありました。島根県のふるさと教育は、地域の「ひと・もの・こと」（教育資源）を活かし、ふるさとに誇りを持ち心豊かでたくましい子どもを育むことを目的としています。本校でも、単に地域教材を取り込むのではなく、内容を取捨選択をしながら、ねらいを明確にして学びたいと考えます。

特産品「秋鹿ごぼう」を調べよう ～ごぼうの種まき(3・4年生)～

種まきを体験するだけにとどまらず、秋鹿の特産品である「秋鹿ごぼう」を育てる作業について知り、地域の方々の作物や仕事に対する思いについて知ることをねらいにしました。

「秋鹿ごぼう博士のプロジェクト」と題して、調べ学習をしたりまとめの活動をしたりして学習を深めていきます。

「秋鹿ごぼうの魅力」を調べた3・4年生は、5月28日(月)に種まき体験をしました。



早く芽を出して、大きくなって～

秋鹿の町にはどんなところがある？

～町たんけん(2年生)～

まずは学校の周りから「秋鹿の町にはどんなところがあるのか？」と関心をもち、たんけんに出かけます。6月9日(火)にはパート1として、なぎさ公園や公民館など南コースを設定しました。後日、パート2として秋鹿町駅や郵便局、団地など東コースも探検します。

「町たんけん」も出かけるだけでなく、「ひと・もの・こと」との出会いを大切に、学びを深めたいと考えています。



列車に手を振る2年生

奥原碧雲先生から学ぼう!!

～特別の教科 道徳(5・6年生)～

道徳科では、様々な内容項目の中に、「…郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り…」と示されている部分があります。

今回は5・6年生の授業で、元公民館長さんに来ていただき、初代校長の奥原碧雲(本名:福市)先生の生い立ちや業績などを含めて、お話をしてもらいました。与謝野鉄幹・晶子夫妻と親交があったことに驚いたり、作詞された校歌に込められた思いを聞いたりして、子どもたちは秋鹿小学校やふるさと秋鹿への思いをよりいっそう強くしたのではないかと思います。

登校した時に、頭を下げていた時代もあったとか…

知れば知るほど、偉大な先輩です!

